

第1章 自然環境

自然環境は、私たちのかけがえのない生活基盤であり、他の動植物と共生し維持していくべきものです。近代では、開発により森林が減ったり、特定の動植物の個体数が減少し絶滅の危機に陥ったりする問題が生まれました。また、近年では、地方で農林業が衰退して里山が荒廃し、そこにすむ動植物が減少したり、奥山の野生動物が町に出没するようになったりという問題も起こっています。

当市も、広く日本海に面し七尾城山等の山林が広がるなど、豊かな自然環境を有しています。なお、七尾湾は暖流の影響が大きい内海で、場所の割に一年を通して温暖であり、豊かで特徴的な生態系が育まれているとみられています。また、世界農業遺産「能登の里山里海」として登録された能登地域の一部でもあり、豊かな自然環境は当市の財産であるといえ、これを保全していくことは重要です。

第1節 自然環境保護

1. 自然公園

自然公園とは、自然の美しい景観地を保護しつつ、その中で野外レクリエーションや休養、自然教育の場として利用することを目的に、自然公園法及び県立自然公園条例に基づき、石川県が指定した公園です。七尾市が属する国定公園は●表 1-1 のとおりです。

●表 1-1 国定公園一覧

公園名	面積	指 定 年月日	七尾市内の 興味地点	特徴・備考
能登半島 国定公園	9,672 ha	S43.5.1	・七尾湾 ・七尾城跡 ・石動山 ・別所岳	日本海側最大の半島である能登半島の変化に富んだ長い海岸線を主体とする公園。優れた海岸景観や温泉等の豊かな自然環境は観光資源として大変重要である。

2. 県自然環境保全地域

県自然環境保全地域とは、すぐれた天然林や動植物等が良好な状態を維持している地域等、県土の自然環境を県民共有の財産として保護し、将来に継承することを目的として、石川県自然環境保全条例に基づき、石川県が指定したものです。七尾市内の指定地域は●表 1-2 のとおりです。

●表 1-2 県自然環境保全地域一覧

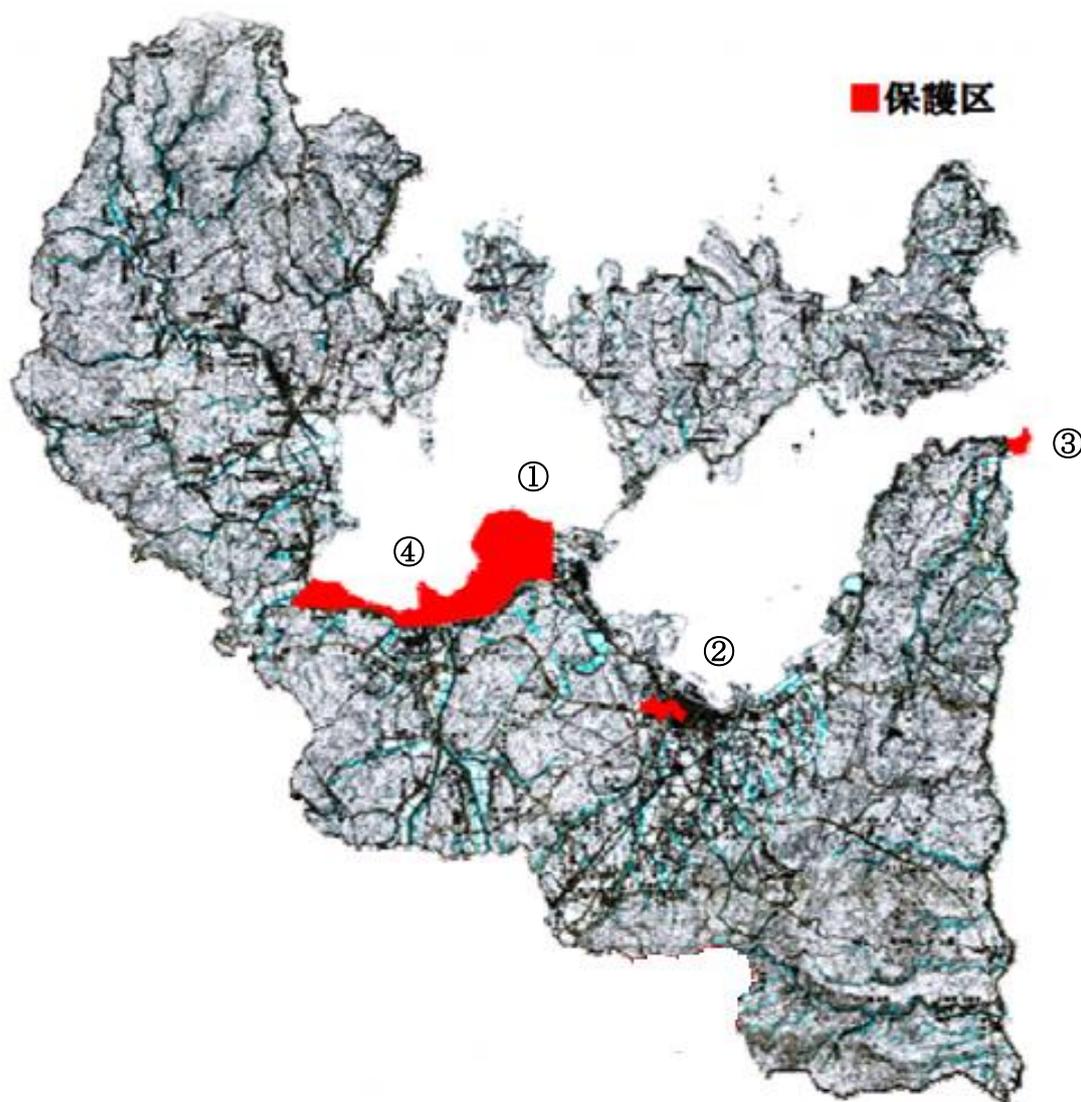
地域名	面積	指 定 年月日	場所	主要保護対象
唐島	1.0 ha	S53.3.31	七尾市中島町塩津地内	タブノキ、ヤブツバキの天然林

3. 鳥獣保護区

鳥獣保護区とは、鳥獣の保護繁殖を図るために、鳥獣保護法に基づき、国または県により指定される区域です。七尾市内には、鳥獣保護区特別保護区や国指定鳥獣保護区はありませんが、県指定鳥獣保護区が4箇所指定されています。その概要は●表 1-3 のとおりです。

●表 1-3 鳥獣保護区一覧

No.	区名	所在地	指定目的の区分	指定期間	面積 [ha]
①	和倉	和倉町地内	森林鳥獣生息地	H25. 11. 1～R15. 10. 31	550
②	小丸山	馬出町地内		H25. 11. 1～R15. 10. 31	45
③	鹿渡島	鵜浦町地内		H21. 11. 1～R11. 10. 31	15
④	七尾西湾	田鶴浜町地内	集団渡来地	H20. 11. 1～R10. 10. 31	200



■図 1-1 鳥獣保護区域図

4. 天然記念物

天然記念物とは、動物、植物及び地質鉱物に関して学術上価値の高いものを保護するため、その種や生息地、所在地等を指定したものです。文化財保護法、石川県文化財保護条例及び七尾市文化財保護条例に基づき、それぞれ国、県、市により指定されます。七尾市内の天然記念物は●表 1-4 のとおりです。

●表 1-4 天然記念物一覧

No	名称	所有者	所在地	指定年月日	指定機関
1	飯川のヒヨドリザクラ	個人	飯川町	S47. 8. 23	石川県
2	伊影山神社のイチョウ	伊影山神社	庵町	H2. 9. 26	
3	岩屋化石層	七尾市	小島町	H2. 9. 26	
4	唐島神社社叢タブ林	唐島神社	中島町塩津	H14. 8. 27	
5	ケヤキ 一本	飯川町会	飯川町	S40. 10. 1	七尾市
6	ラカンマキ 一本	龍門寺	小島町	S40. 10. 1	
7	大杉 一本	久麻加夫都阿良加志比古神社	中島町宮前	S47. 3. 23	
8	タブノキ 一本	秋葉神社	大野木町	S48. 7. 25	
9	スギ 一本	阿良加志比古神社	山崎町	S48. 7. 25	
10	小丸山公園常緑広葉樹林	七尾市・西光寺	小島町・馬出町	S57. 12. 24	
11	椿林寺常緑広葉樹林	法広寺	鶴浦町	S59. 12. 22	
12	観音寺海浜植物群落	鶴浦町会	鶴浦町	S59. 12. 22	
13	雄島・雌島の植物群	国	七尾南湾	H2. 12. 21	
14	出村家のタブノキ 一本	個人	能登島長崎町	H8. 3. 26	
15	小牧のスジダイ 一本	白山社	中島町小牧	H8. 6. 24	

5. 名水百選

名水百選とは、優れた湧水環境が地域住民の活動により保全されている場所を、環境省が選定したものです。七尾市内ではこれまでに、昭和 60 年に「昭和の名水百選」、平成 20 年に「平成の名水百選」が選定されています。七尾市内での選定場所は●表 1-5 のとおりです。

●表 1-5 名水百選一覧

No.	名称	所在地	選定区分
1	御手洗池	三引町 54 部 10 番地 1 (赤蔵山憩の森内)	昭和の名水百選
2	藤瀬の水	中島町藤瀬 19 部 38 番地 (藤瀬霊水公園内)	平成の名水百選

6. 森林管理

七尾市では、森林の所有者と協定を結び所有者の適切な森林管理の支援や林道の維持管理に取り組んでいます。その状況は●表 1-6、1-7 のとおりです。

●表 1-6 協定締結状況(令和3年度実績)

協定者数	50 人
協定面積	25.24ha

●表 1-7 下草刈り費用支援状況(令和3年度実績)

維持管理費	1,120,260 円
維持管理面積	28,940 m ²

第2節 生物多様性

1. 野生動植物の保護・保全

七尾市野生動植物生息等調査委員会では、平成27年度から令和元年度までの5か年の調査をもとに七尾市における様々な野生動植物の絶滅危険度を評価し、植物編・鳥編・昆虫編の七尾市版レッドリスト2020が完成し、市民や事業者へ情報提供を行い、種や生態系の保存を行います。

●表 1-8 基礎資料に記録された重要種の数 単位：種

項目	市内に生息していると思われる重要種の数※1	市内で確認された種の数
哺乳類	1	0
鳥類	92	81
爬虫類	3	2
両生類	5	5
魚類	16	10
昆虫類	103	8
浅海域の生物	18	0
その他の動物※2	20	5
植物	392	186
合計	650	297

※1 市内に生息していると思われる重要種

いしかわレッドデータブック等の資料をもとに、七尾市内でかつて生息が記載されていた環境省レッドリスト種、石川県希少種、石川県レッドデータブック種、種の保存法指定種、天然記念物をまとめた。

※2 その他の動物は無脊椎動物、甲殻類、サンゴ類、貝類等を指す。

2. 七尾市のサンショウウオ

レッドデータに指定されている種で、他の地域に比べて七尾市に多く生息や繁殖が確認されているのが「ホクリクサンショウウオ」です。清らかな水質環境を好むサンショウウオの仲間は良好な里山の象徴的な生物です。

七尾市にはその他にヒダサンショウウオ、クロサンショウウオも生息と繁殖が確認されています。



◆ホクリクサンショウウオ



◆ヒダサンショウウオ



◆クロサンショウウオ

第3節 環境学習

1. 水生生物調査

水生生物調査とは、河川に生息する水質の指標となる生物を調査することでその場所の水質を判断する調査です。環境問題への関心を高める効果もあり、環境省が昭和 59 年から実施しています（平成 12 年度からは国土交通省と合同作成の方法で実施）。

七尾市では、市内の小学校と協力し、毎年6月から調査を始め、令和3年度は1河川2箇所を実施しました。

●表 1-9 令和3年度水生生物調査の結果

参加学校	参加人数	河川	調査地点		水質階級
			番号	地点名	
中島小学校	38	熊木川	1	中流（樽木橋付近）	I
			2	上流（渡瀬橋付近）	I
合計	1校	38	1河川	2地点	

《生物指標と水質ランク》

●水質階級Ⅰ ⇒ きれいな水

アミカ、サワガニ、ブユ、ナミウズムシ、ナガレトビケラ、ヘビトンボ、カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ヤマトビケラ、ヨコエビ

●水質階級Ⅱ ⇒ ややきれいな水

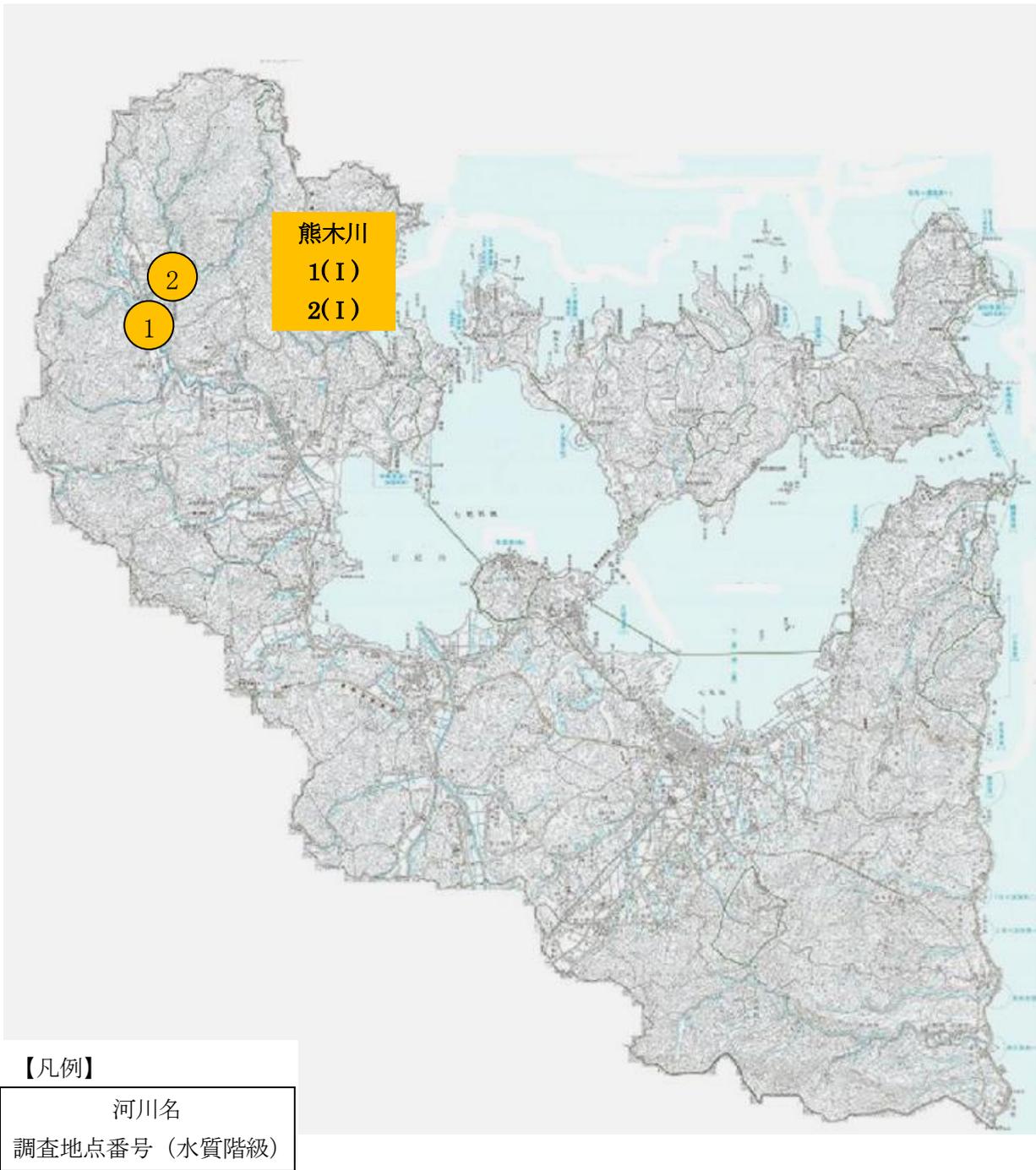
イシマキガイ、ゲンジボタル、オオシマトビケラ、コオニヤンマ、ヒラタドROMシ、コガタシマトビケラ、ヤマトシジミ、カワニナ

●水質階級Ⅲ ⇒ きたない水

イソコツブムシ、ニホンドロソコエビ、ミズムシ、シマイシビル、タニシ、ミズカマキリ

●水質階級Ⅳ ⇒ とてもきたない水

ユスリカ、エラミミズ、チョウバエ、サカマキガイ、アメリカザリガニ



■ 図 1-2 令和 3 年度における水生生物調査地点及び調査結果